第 43 回北信越中学校総合競技大会 陸上競技 連絡事項

長野県中学校体育連盟陸上競技専門部

本競技会は、会場に入れる人数を制限し<u>AD 規制</u>を実施します。競技場メインスタンド(スタンド裏含む)に入れるのは、選手(アスリートビブスを提示)、引率顧問・学校関係者(教職員・コーチ)(いずれも AD あり)、競技役員(長野陸協・協力役員)(AD あり)となります。AD のない方や観戦用 AD では入れません。

<u>保護者の観戦については芝生スタンドのみとします。</u>詳細は別紙 (スタンドの使用について(資料 2)、競技注意事項 9 その他(6)) をご確認下さい。

また、競技場のゲート付近や芝生スタンドによじ登っての観戦は感染防止、危険防止の観点からおやめください。

選手にとって安全・安心な競技会になるようご協力をお願いします。

遠方よりご来場の皆様、どうぞ気をつけてお越しください。

1 ホームページ掲載内容

AD(Accreditation card=大会身分証)

- ①連絡事項 ※この用紙です
- ②競技注意事項
- ③競技場配置図·選手動線
- ④招集時及びゴール後の競技場内での選手の動き
- ⑤本競技場・補助競技場使用区分
- ⑥公開練習要項
- ⑦各県本競技場コンコース選手待機場所(資料1)
- ⑧芝生席図(資料2)
- ⑨駐車場図(資料3)
- ⑩補助競技場配置図(テント設置について)
- ⑪競技日程

2 当日の提出物について ※提出書類は長野県中学校体育連盟よりダウンロードしてご利用下さい。

(1) 8月2日(火) 前日練習

選手・引率顧問

①体調記録表 修正版(別紙1) ⇒ <u>各県ごとまとめて</u>2F 受付(正面階段上)にて提出。 <u>ここで提出した方は、翌日の提出は不要です。</u> 8/3(水)のみの来場者は、当日受付にて提出。

②学校同行者体調記録表(別紙2) ⇒ この日は必要なし

学校関係者(教職員・コーチ含め3名以内)

来場者体調記録表(別紙3)

 \Rightarrow 2F 受付の際提出。引き換えにADをお渡しします。

選手の家族

観戦できません。 ご理解・ご協力をお願いします。

(2) 8月3日(水) 大会当日

選手・引率顧問

①体調記録表 修正版(別紙1) ⇒ 必要なし

ただし、8/3(水)のみの来場者は、当日 2F 受付にて提出。

②学校同行者体調記録表(別紙2) ⇒ 学校ごとに選手・引率顧問全員の名前を書いて提出 【顧問・コーチはADとの引き換えに必要】

競技開始時間の関係で、時間差で来場する場合は、最も早く来

場する顧問または選手が持参し、提出する。 ③欠場届 必要な場合のみ プログラム巻末綴じ込み

欠場する(混成競技の途中種目の棄権も含む)場合は、TICに提出する。

- ④プログラム訂正届出用紙 必要な場合のみ プログラム巻末綴じ込み 朝7:30までに各県監督に提出する。各県監督は集約し大会総務へ提出する。
- ⑤リレーオーダー用紙 リレーに出場する学校のみ プログラム巻末綴じ込み 招集完了時刻1時間前までにTICに提出する。提出時刻までにオーダー表末提出の場合は欠場となる。決勝のオーダー用紙はTICにおいて配布する。

学校関係者(教職員・コーチ含め3名以内)

来場者体調記録表(別紙3) ⇒ 2F 受付の際提出。引き換えにADをお渡しします。

選手の家族(2名以内)

来場者体調記録表(別紙3) ⇒ 保護者受付 (バックスタンド裏) の際に提出。引き換えにADをお渡しします。

3 シューズ規則に関して

WA(ワールドアスレチックス)が承認したシューズのリストがあります。

詳しくは https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/ で確認をしてください。

※ご不明な点は、各県の専門委員長にご連絡ください。



4 選手の動線について

- (1) 出場選手の競技場への入場口は第4ゲート(100m スタート付近)のみです。朝のウォーミングアップもこちらから入場してください。(詳しくは競技注意事項、招集時及びゴール後の競技場内での選手の動きを参照)。
- (2) 競技終了後の退場口は、第1ゲート(ゴール側)から退場になります。別紙「招集時及びゴール後の競技場内での選手の動き」を確認して下さい。

5 テントの設置について

- (1) テントを利用する場合は、本競技場ではサイドスタンドの各県割り当てられた場所に設営し、補助競技場では定められた場所に設営してください。場所が限られていますので、各県での対応をお願いします。
- (2) 上記に定めた場所以外の公園内(林の中など)は、一般利用者及び観戦者の休憩場所となるため、テントの設営を禁止します。
- (3) 風で飛ばされることのないように、責任を持って固定してください。

6 その他

- (1) TICにも靴底の測定器具を用意しておくので事前にそちらで確認しても構いません。
- (2) 女子更衣室は、2F コンコース横女子更衣室を利用してください。※コンコース待機場所(資料1)参照
- (3) 競技結果は選手・顧問が確認できるように、2Fコンコースに掲示を行います。 また、アナウンスによる発表とともに、長野陸協 Data-Web (http://nrk-dir.jp/) に掲載します。
- (4) 競技注意事項をよくお読みの上、確認をお願いします。
- (5) ご不明な点は、各県の専門委員長にご連絡ください。

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2022 年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項、競技注意事項及び申し合わせ事項により実施する。また、日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開についてのガイダンス(最新版)に基づいて実施する。 靴底の厚さについては、ソールの最大の厚さが次の厚さを越えないこと。【TR5.】

トラック種目 **800**m未満: **20**mm、**800**m以上: **25**mm フィールド種目 **20**mm

2 競技場の使用について

- (1) ウォームアップ場は補助競技場を原則とする。投てき種目の練習については、定められた場所(補助競技場の投てきピット)でのみ行い、安全については各校各自で十分に注意する。砲丸投は補助競技場の全天候舗装・芝生の部分では使用しない。また、走高跳は補助競技場にマットを設置しないため、入場開始時刻を早めるので、必要に応じて本競技場内にて跳躍練習を行うこと。
- (2) スパイクピンの長さは 9mm 以内とし、走高跳は 12mm 以内とする。
- (3) 医務室は、本競技場1階医務室に設置する。AED は本競技場事務室内にある。

3 招集・点呼について

- (1) プログラムの訂正がある場合は、プログラム巻末綴込みにある「プログラム訂正届出用紙」に記入し、3日(水)7:30までに各県監督に提出する。また、各県監督は集約し大会総務へ提出する。
- (2) 3 密を避けるため、招集は、100m スタート後方の入場ゲートでの招集後、現地等決められた場所へ移動する (別紙『招集時及びゴール後の会場内での選手の動き(動線)』を参照のこと)。
- (3) 競技場内への入場・招集開始時刻並びに招集完了時刻は、競技日程に記載の通りとする。
- (4) 招集の手順
 - ① 招集の際、ユニフォーム、アスリートビブス、シューズ、スパイクピン、商標及び競技場内へ持ち込む 物品等の確認を受けた後、現地等決められた場所へ移動する。
 - ② 入場・招集時刻については、その競技開始時刻を基準とし下記のように定め、競技日程に記載の通りとする。

	種目	入場·招集開始	招集完了
トラック競技	100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mハードル 110mハードル 4×100mリレー	30 分前	20分前
	砲丸投	40分前	
フィールド競技	走高跳	60分前	30分前
	走幅跳	60分前	
	棒高跳	100分前	60分前
	200m 400m 100m/\-\`\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	30分前	20分前
四種競技	走高跳	50分前	30分前
	砲丸投	40分前	30万円

- ③ 四種競技出場者は、トラック種目は100mスタート後方の入場ゲートで行い、フィールド種目は、各種目の競技場所(各ピット)にてそれぞれ点呼を受ける。
- (5) 競技への出場をやむを得ず欠場する(混成競技の途中種目の棄権も含む)場合は、入場・招集開始時刻までに、 プログラム巻末綴じ込みにある「欠場届」をTICに提出すること。
- (6) 競技が遅れた場合でも、プログラム記載時刻通りに招集を完了すること(時間厳守)。招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなす。
- (7) 代理人による招集は認めない。2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、第 1 種目の入場・招集の際に招集 所備え付けの「2 種目同時出場届」を競技者係(入場ゲート係員)に提出すること。届け出が完了すれば、第 2 種目の招集を事前に受けることができる。

4 競技について

- (1) トラック競技
 - ① 予選におけるトラック競技の走路順は、プログラム記載の左側の番号で表す。
 - ② 計時方法は写真判定(1/100秒)とする。
 - ③ トラック競技でタイムにより決勝進出者を決めるときに、最後の 1 枠に同成績がいる場合、写真判定 (1/1000 着差)で判定し、それでも同じであれば同成績とする。レーンに余裕があれば決勝に進ませる。レーンに余裕がない場合は、同記録者または代理人によって抽選を行う。
 - ④ 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン (曲走路)を走ること。リレー競技においては、バトンを渡し終えた競技者は、他競技者への妨害を 避けるため、走路が空くまで自分のレーンまたはゾーンにとどまること。
 - ⑤ リレーのオーダー用紙は、予選・決勝とも招集完了時刻の1時間前までに、TICに提出すること。 決勝のオーダー用紙はTICにおいて配布する。
 - ⑥ リレー競技のマーカーの使用は1カ所とし、マーカーは主催者が用意したものを各ゾーンで出発係が 渡す。

(2) フィールド競技

- ① フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。
- ② フィールド競技の走幅跳・砲丸投は計測ラインを設けず、全記録を測定する。事情(天候その他特別な条件)により変更することもある(四種競技を含む)。
- ③ 四種競技の男子砲丸投は、4.000kg で行う。
- ④ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。ただし、事情により変更することがある。
- ・1位決定のためのバーの上げ方は、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。
- ・練習については各ピットで申告し、選択した高さで練習を行う。

	走高	跳	(練習1.60)	1. 65-1. 70-1. 75-1. 80-1. 83	(以後 3 cmきざみ)
男	四種走高	部跳	(練習1.75) (練習1.40)	1. 45からすべて 5 cmきざみ	
子			(練習1.60) (練習2.80)	3. 00-3. 20-3. 40-3. 50	(以後10cmきざみ)
	棒高	跳	(練習3.60) (練習4.00)		
女	走高	跳	(練習1.35) (練習1.45)	1. 40-1. 45-1. 50-1. 55-1. 58	(以後 3 cmきざみ)
고	四種走高	高跳	(練習1.20) (練習1.35)	1. 25からすべて 5 cmきざみ	

(3) 混成競技(四種競技)の選手控え所

- ① 競技者控室は、本競技場1階に用意し、競技者のみ活動を許可する。ただし、雨天走路などでの他選手へのコーチング、声援は行うことができないので注意すること(助力とみなす)。
- ② 監督・コーチ等学校関係者は、競技者控室及び競技場1階への立ち入りはできない。コーチングなどを受ける場合は、混成競技係の許可を得て、選手が移動する。

(4) 抗議と上訴

抗議申し立てについては、正式結果が発表(アナウンス)されてから30分以内(次のラウンドがある場合は15分以内)に、その種目に出場した競技者自身または代理人が各県の総監督を通して、開催県中体連陸上競技部専門委員長に申し立てる。さらに判定に不服がある場合は、上訴の申し立てをする。(競技規則TR.8)

(5) 助力

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出た上で、競技役員の指示に従って行動しなければならない。
- ② ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- ③ コーチ等からの助言は競技場区域外(スタンド)のコーチングエリアのみとする。その際、そこで録画した映像を見せることは助力にはならないが、録画した機材(スマートフォン・ビデオカメラ等)を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなし、該当の競技者は警告され、同行為を繰り返すと失格の対象となる。

(6) 学校対抗

- ① 男女別学校対抗とする。
- ② 得点は下記のとおりとする。

1位							
8点	7点	6 点	5 点	4点	3点	2 点	1点

- ③ 同順位を共有する場合は、該当得点を折半する。
 - (例:3位が2人いた場合は6点+5点÷2人=5.5点)
- ④ 合計得点が同じ場合は、高順位の多い学校を上位とする。

5 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、各県で配布されたものをユニフォームの胸・背部に確実に結着する。ただし、跳躍種目の競技者は、背または胸の片側につけるだけでもよい。
- (2) トラック種目に出場する競技者は、腰ナンバー標識をランニングパンツ右側の上部やや後方につける。 なお、腰ナンバー標識のナンバーはレーンナンバーとする。
- (3) 腰ナンバー標識は各県で準備すること。

6 用器具について

(1) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポールを除きすべて主催者が用意したものを使用する。

7 表彰について

- (1) 学校対抗(団体)は3位まで表彰し賞状を授与する。優勝校には優勝杯を授与する。
- (2) 個人(リレーを含む)は8位まで表彰し賞状を授与する。1位にはメダルを授与する。リレーはエントリー 競技者6名にも個人賞状を授与する。

(3) 各種目の8位までの入賞者は、競技終了後ただちに表彰控え場所に集合すること。ただし、リレーの決勝に出場する競技者には代理人を認める。

8 感染症予防対策

- (1) 来場の際は事前に配布する「体調記録表(別紙1)」を記入し、必ず提出する。
- (2) 選手・引率教員の「体調記録表(別紙1)」は各県毎に集めて、学校受付で提出する。
- (3) 選手はマスクを持参し、運動時(ウォーミングアップ含)以外はマスクを着用する。
- (4) 競技中、ウォーミングアップ中につばや痰を吐くことは極力行わない。
- (5) 声を出しての応援や集団での観覧は禁止する。
- (6) 競技終了後は、ハンドソープによる手洗いを行う。また場内各所にアルコール消毒液を設置するので、こまめな手洗いや手指消毒を行う。
- (7) 大会終了後2週間以内に感染が確認された場合、直ちに主催者に報告すること。

9 その他

- (1) 競技者は、その競技をする以外は、トラック及びフィールドに立ち入ることができない。
- (2) テントは、本競技場では各県割り当てられた場所に設営し、補助競技場では定められた場所に設営する。 風で飛ばされることのないように、責任を持って固定すること。 その他公園内は一般利用者及び観戦者の休憩場所となるため、テント設営は禁止する。
- (3) 各校・各県の「のぼり旗や横断幕」は、定められた場所にのみ設置をすることができる。設置する際には、通路や観覧席をふさがないようにする。(下記図参照)
- (4) 陸上競技場でのシート・横断幕・のぼり等の設置の際にテープを用いる場合は、養生テープを使用する。 コンクリート面への設置についてはガムテープの使用が可能。
- (5) 雨天走路は使用しない。
- (6) スタンドからの撮影は、その選手の関係者のみ許可し、それ以外の撮影は認めない。また、撮影禁止エリアでの撮影は一切できない。
- (7) ウォーミングアップ場(補助競技場)への監督・コーチの入場は認める。
- (8) 競技結果は選手・顧問が確認できるように、2F コンコースに掲示を行う。また、アナウンスによる発表とともに、長野陸協 Data_Web のリザルトページ (https://nrk-dir.jp/result/result_2022) に1種目終了するごとに結果をアップするので、そちらで確認すること。

のぼり旗 : 各校 3 本まで設置可能 図 1 本競技場内第 $2 \cdot 3$ ゲート、サイドスタンドのみとします。

応援横断幕:メインスタンド(3F/スタンド) 図2 の赤い部分に通路(階段)をまたがないように設置し、いずれも、風で飛ばされないようにきちんと結びつけてください。

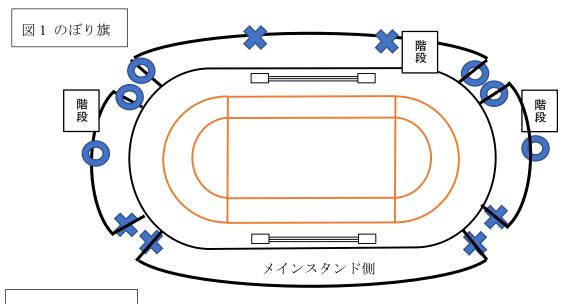
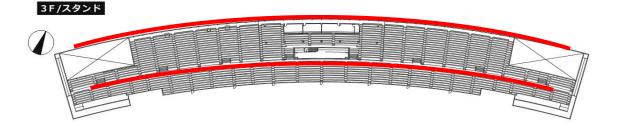
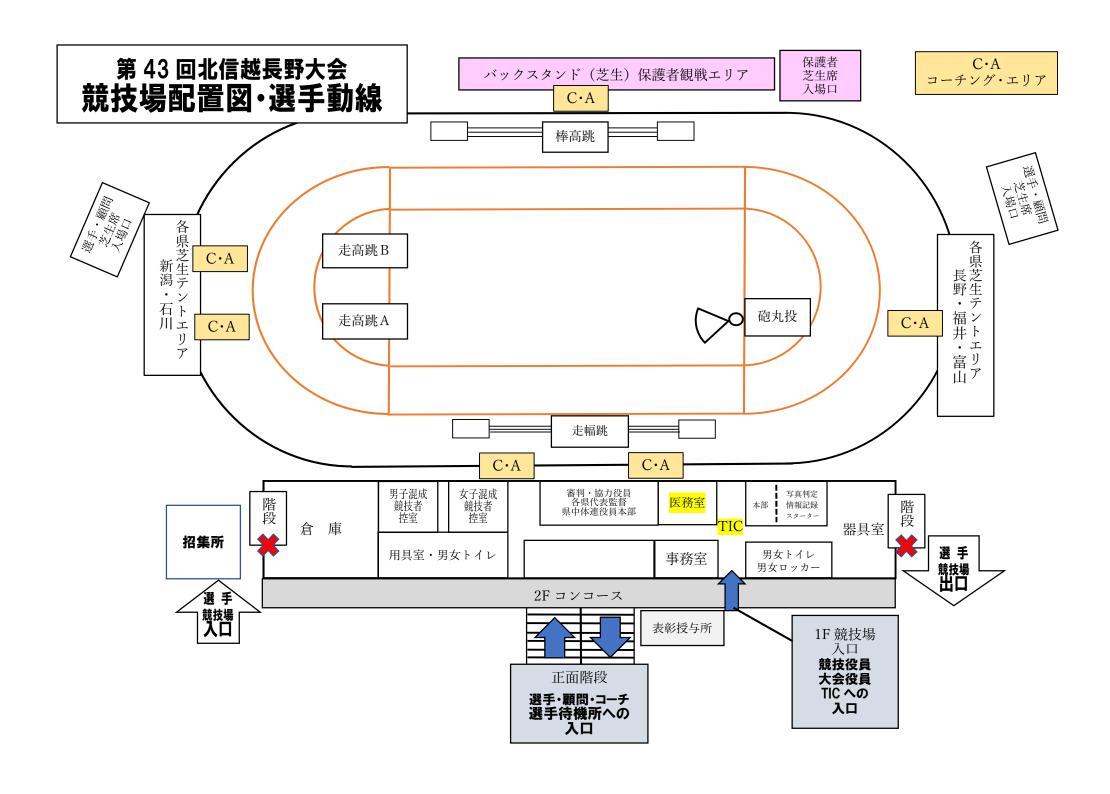


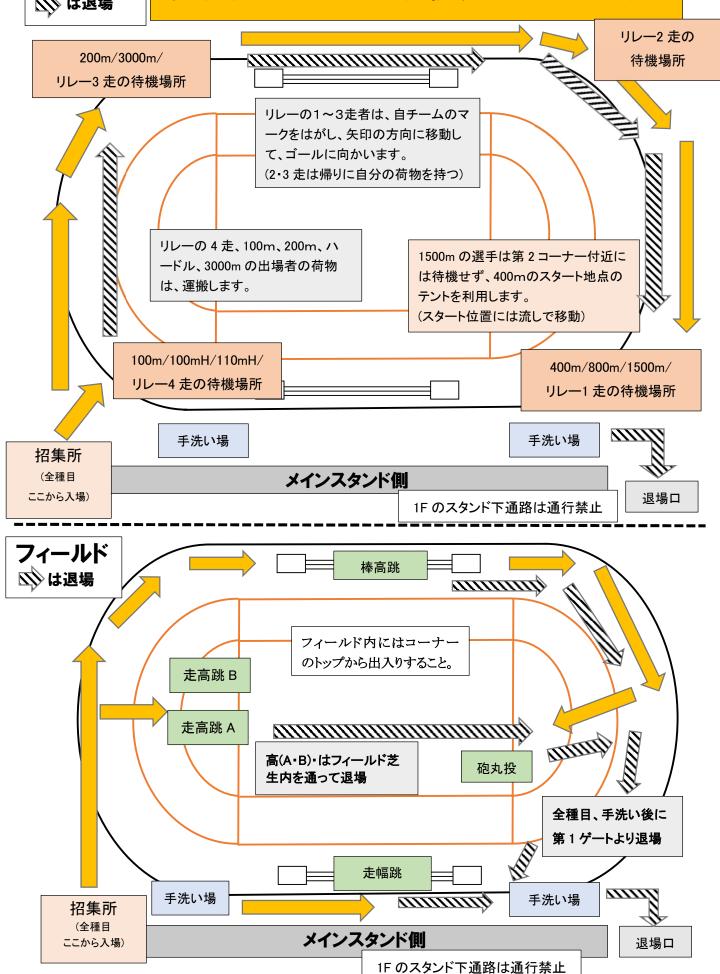
図2 応援横断幕

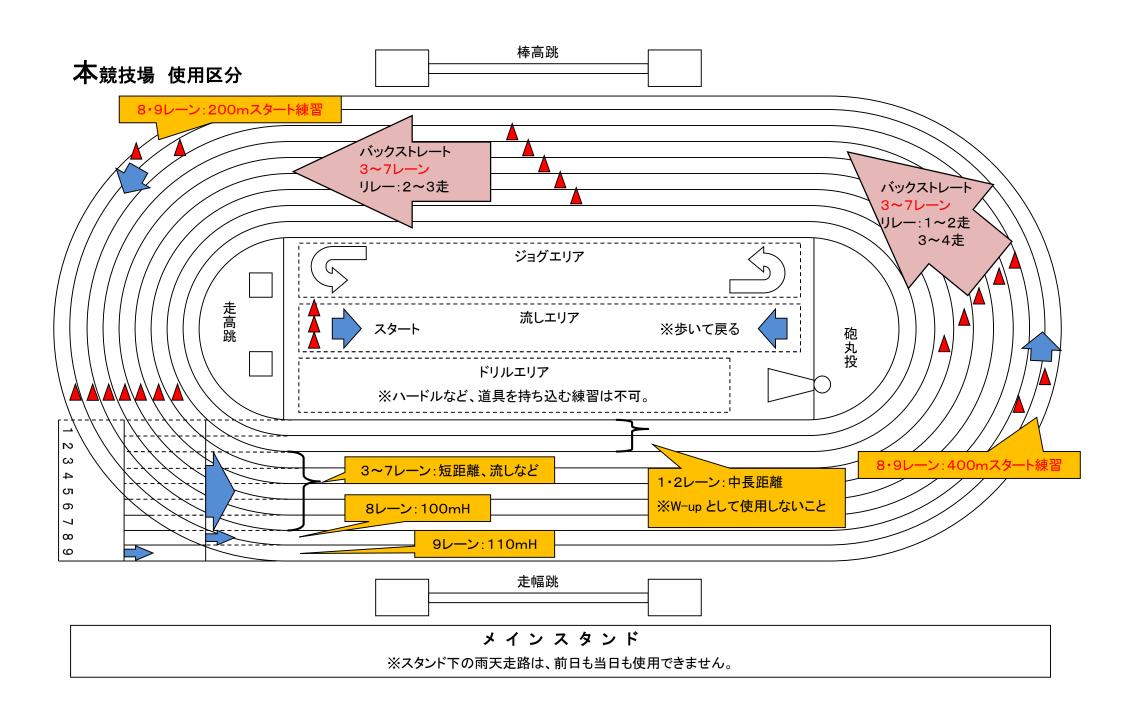


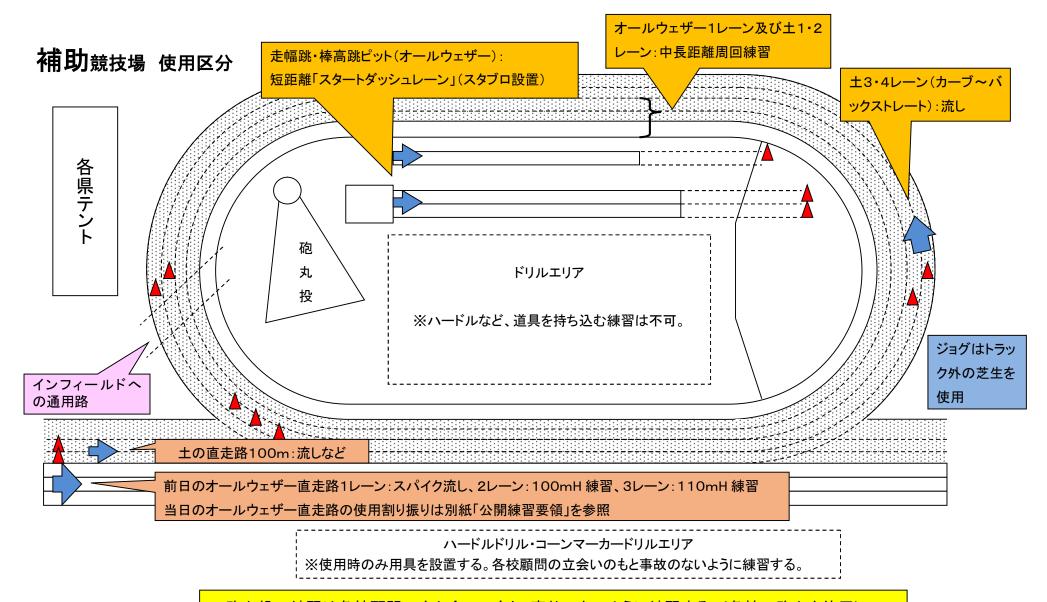


トラック

招集時及びゴール後の競技場内での選手の動き







- * 砲丸投の練習は各校顧問の立ち会いのもと、事故のないように練習する。(各校の砲丸を使用)
- *走高跳・棒高跳・走幅跳は本競技場で練習ができます。

*公開練習要領 *

1 本競技場

8月2日(火) 前日 10:00~16:00

使用方法

- 1. トラック
 - ◇1・2レーン・・・・・中長距離 ※W-up(ジョグ)として使用しないこと
 - ◇ホームストレート3~7レーン・・・・・・・・・・短距離
 - ◇ホームストレート8レーン・・・・・・100mH
 - ◇ホームストレート9レーン・・・・・・110mH
 - ◇曲走路8・9レーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・200m及び400mのスタート練習(スタブロ設置)
 - ◇バックストレート3~7レーン・・・・・リレー(テークオーバーゾーン1走~2走及び3走~4走、2走~3走)
- 2. フィールド
 - ◇走高跳・棒高跳・走幅跳・砲丸投は用具を設置した場所のみ練習可。尚、砲丸投の練習は各校顧問の立ち会いのもと、事故のないように練習する。(各校の砲丸を使用)
 - ◇芝生内は「ジョグ」「ドリル練習」「流し」のみ可とする。※ハードルなどの道具の持ち込みはできない。

8月3日(水) 当日 7:00~ 8:00

使用方法

- 1. トラック・・・<u>基本的には開放しない。当日の降雨の状況などにより補助競技場での Wーup及び練習が困</u>難な場合は開放することもある。
- 2. フィールド・・・ 走高跳・棒高跳・走幅跳は、本競技場での練習が行えるように会場入場時刻を早めに設定。 砲丸投は補助競技場にて練習すること。

2 補助競技場

8月2日(火) 前日 10:00~16:00

8月3日(水) 当日 6:30~16:00

使用方法

1. トラック

(1)周回

- ◇オールウェザー1レーン及び土1~2レーン・・・・・・中長距離
- ◇土3~4レーン(カーブ~バックストレート)・・・・・・流し
- (2) 直走路
 - ◇オールウェザー1レーン:スパイク流し、2レーン:100mH 練習、3レーン:110mH 練習
 - ◆±100m············流し

※当日の直走路は競技時間に合わせて練習内容を割り振る。

- ① 6:30~ 8:30 ······1レーン:スパイク流し、2レーン:100mH、3レーン:110mH
- ② 8:30~ 9:00 ……1~3レーン:スパイク流し
- ③ 9:00~11:30 ……1レーン:スパイク流し、2・3レーン:リレー練習
- ④11:30~12:10······1レーン:スパイク流し、2レーン:100mH、3レーン:110mH
- ⑤12:10~13:30……1~3レーン:スパイク流し
- ⑥13:30~14:20・・・・・・・・・・・1レーン:スパイク流し、2・3レーン:リレー練習
- 2. フィールド
 - ◇走高跳・棒高跳・走幅跳の練習はできない。本競技場で練習する。
 - ◇棒高跳・走幅跳ピット(オールウェザー)は「スタートダッシュレーン」とし、スタブロを設置し、短距離の 練習用として使用する。
 - ◇砲丸投の練習は各校顧問の立ち会いのもと、 事故のないように練習する。(各校の砲丸を使用)
 - ◇芝生内は「ドリル練習」のみ可とする。**※ハードルなどの道具の持ち込みはできない。ジョグはトラック 外の芝生。**
- 3. オールウェザー直走路外側
 - ◇ハードルドリル、コーンマーカードリルエリアでは、使用時のみ用具を設置する。
 - ◇各校顧問の立会いのもと事故のないように練習する。

3 雨天走路 ※大会期間中、開放しない。

8月2日(火)各県の割り当て時間

8月2日(火)各県の割り当て時間

新潟·富山 12:00~14:00 福井·石川 14:00~16:00

10:00~12:00

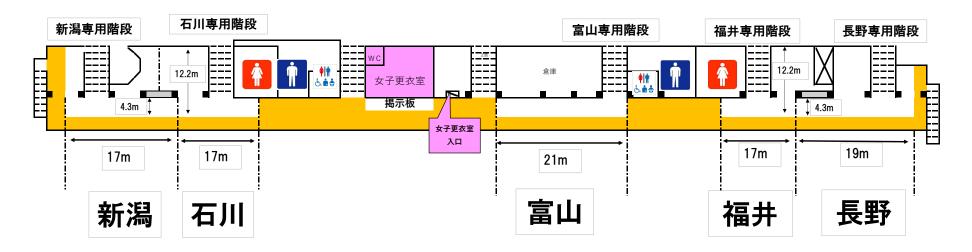
長野

長野 10:00~12:00 新潟·富山 12:00~14:00

福井·石川 14:00~16:00

【資料1】

コンコース待機場所



・・・通路スペース(場所取り禁止)

【注意事項】

- ・コンコースにテントを張る場合には各都道府県で準備する。テントを張る際には風で飛ばないように重りを設置すること。
- ・階段下のスペースは声が競技場へ響きやすい構造になっているので、使用する場合には荷物置き場とするか、コーチや先生 方用の場所にするなど各県で配慮をお願いします。(静寂が保たれずスタートのやり直しとなるケースが多くあります)

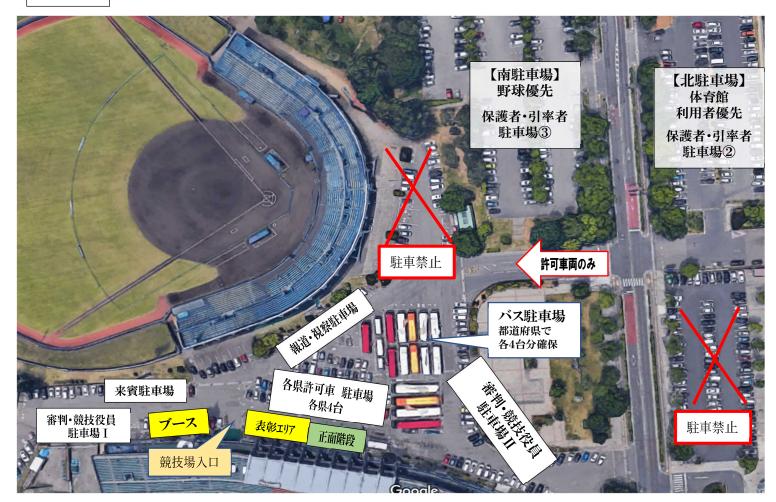
資料2

スタンドの使用について



- スタンドに各県のベンチを設ける
- 屋根なし部分
- 屋根下部分
- ・芝生エリアに各県の場所を割り振る
- ・芝生への出入り口で規制を行う。選手はアスリートビブスにて、チーム関係者、保護者については AD で確認する。

資料3





【補助競技場配置図】

- •「テント(荷物置)」は大会本部で用意したテントを、各県で利用してください。
- •「テント設置可能エリア」には必要に応じてテント設営が可能。各県でテントを準備。



競技日程

							7770	<u> </u>
		•	▶ ♦♦ トラ	ッツ	ク競		$\Diamond \blacklozenge$	
No.			種 目		組-着+人	競技開始時刻	入場·招集開始	招集完了時刻
1	女	共通	四種100m/~ド/	iV	2	8:40	8:10	8:20
2	女	共通	100mハート ル	予	2-3+2	8:50	8:20	8:30
3	男	共通	四種110m/~ドノ	iV	2	9:05	8:35	8:45
4	男	共通	110m/- N	予	2-3+2	9:15	8:45	8:55
5	男	共通	3000m	決		9:30	9:00	9:10
6	女	共通	1500m	決		9:45	9:15	9:25
7	男	共通	1500m	決		9:55	9:25	9:35
8	男	1年	1500m	決		10:05	9:35	9:45
9	女	共通	200m	予	2-3+2	10:20	9:50	10:00
10	男	共通	200m	予	2-3+2	10:30	10:00	10:10
11	男	共通	400m	予	2-3+2	10:40	10:10	10:20
12	女	2年	100m	予	2-3+2	10:50	10:20	10:30
13	女	3年	100m	予	2-3+2	11:00	10:30	10:40
14	男	2年	100m	予	2-3+2	11:10	10:40	10:50
15	男	3年	100m	予	2-3+2	11:20	10:50	11:00
16	女	1年	100m	予	2-3+2	11:30	11:00	11:10
17	男	1年	100m	予	2-3+2	11:40	11:10	11:20
18	女	共通	4×100mリレー	予			11:40	11:50
19	男	共通	4×100mリレー	予	2-3+2	12:20	11:50	12:00
20	女	共通	100mハート ル	決		12:50	12:20	12:30
21	男	共通	110mハート ル	決		13:00	12:30	12:40
22	女	共通	200m	決		13:10	12:40	12:50
23	男	共通	200m	決		13:15	12:45	12:55
24	男	共通	400 m	決		13:25	12:55	13:05
25	女	2年	100m	決		13:35	13:05	13:15
26	男	2年	100m	決		13:40	13:10	13:20
27	女	3年	100m	決		13:45	13:15	13:25
28	男	3年	100m	決		13:50	13:20	13:30
29	女	1年	100m	決		13:55	13:25	13:35
30	男	1年	100m	決		14:00	13:30	13:40
31	女	共通	四種200m		2	14:10	13:40	13:50
32	男	共通	四種400m		2	14:25	13:55	14:05
33	女	共通		T決	2	14:35	14:05	14:15
34	男	共通		T決	2	14:45	14:15	14:25
35	女	共通	4×100mリレー	決		14:55	14:25	14:35
36	男	共通	$4 \times 100 \mathrm{m}$ JV-	決		15:00	14:30	14:40

1	不	Ē						
No.		\Q	◆◇ 7 種	7ィー. 目	ルド	競技競勝	◆◆◆ 入場·招集開始	招集完了時刻
	1.	11.74	75 J. 10. /o	7011	54	0.10	0.00	0.40
$\frac{1}{2}$			砲丸投(2. 走高跳	721kg) [B]		9:10 9:30	8:30 8:30	8:40 9:00
3		–	走幅跳	[D]	決	9:30	8:30	9:00
4	男	共通	棒高跳		決	10:00	8:20	9:00
5	女	共通	四種走高路	兆 [A]		10:30	9:40	10:00
6	男	共通	四種砲丸	投(4.000	Okg)	10:50	10:10	10:20
7	+	뀨 /玄	土古叫	[ח]	Уh	11.00	10.20	11.00
7			走高跳	[B]		11:30	10:30	11:00
9			四種砲丸打四種走高路		kg)	12:15 12:20	11:35 11:30	11:45 11:50
10	女	共通	走幅跳		決	13:00	12:00	12:30
11	男	共通	砲丸投(5.	000kg)	決	13:30	12:50	13:00
						;	※[]はt	ニット
							,,,,	

※ 主要日程

2日 (火)	3日 (水)	
○ 開 場 10:00	○ 開 場	6:30
○ 前日練習 (メイン及びサブ)	○ 審判会議	7:30~ 7:50
長野 10:00~12:00	○ 競技開始	8:40
新潟・富山 12:00~14:00	○ 競技終了	15:05
福井・石川 14:00~16:00	○閉場	17:00
○ 閉 場 17:00		